

緩和ケア病棟

—緩和ケア病棟の基本方針—

- * 落ち着いた入院環境で、病棟の専門スタッフが関わりをしていきます。
- * 患者さんとその家族とコミュニケーションをとり、その思いを理解する努力をします。そのため患者さんが病状について、理解されていることが望ましいと考えています。関わるスタッフはカンファレンスを重ね、より良いケアを目指します。いつまでも患者さんの味方でいられるようにします。
- * 緩和ケア病棟は、悪性腫瘍で治療をしない方が入院対象です。入院中は苦痛緩和につながる合併症の治療は行いますが、悪性疾患の治療自体は行いません。したがって、抗がん剤治療、延命処置(モニターの装着、衰弱時の血圧を上げる薬の使用、心臓マッサージ、気管内挿管)は行いません。苦痛緩和に結びつかない検査や処置はできる限り行いません。

家族控室



浴室



廊下から見たスタッフステーション



患者・家族用キッチン



—緩和ケア病棟理念—

- 患者さんのこころと身体の苦しみを和らげるよう努めます。
- 患者さんの望まれること・自律性を大切にします。
- いのちを尊重したかわりをしていきます。
- 患者さんご家族の心配が少しでも軽減できるよう関わります。
- ご家族にとって、ここでの時間が、将来にわたり少しでも意味あるものとなるようなケアを目指します。
- 専門スタッフが協力しながらこれらの目標を実現するために努力します。



緩和ケア病棟スタッフ